

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		自立支援医療・補装具給付事業費[補装具給付事業]											
予算科目	款	3	民生費	項	1	社会福祉	目	4	障害者福祉費	事業番号	5		
事業の種別		☒ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) ☐ 課内庶務等 ☐ 休止したもの ☐ 廃止したもの											
担当部署・課長名		障害福祉			課			障害福祉			係	課長名	大法 努
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号		2		- 3	
【施策名】 障害者福祉の推進								総合計画書(ページ)		55			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)								
	・身体障害者				市内の身体障害者数								
	→												
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)								
・身体障害者・児の就労や日常生活を容易にし、自立した生活が送れるようにする。				補装具の購入・修理件数/市内の身体障害者数									
→													
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)									
・身体障害者・児の就労や日常生活を容易にするため、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づき、車いす、義肢等の購入及び修理に係る補装具費を支給する。				補装具の購入・修理件数									
→													
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標					
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標					
	対象指標	①の数値	人	2,675	2,617	2,597							
	成果指標	②の数値	%	11.1	9.5	11.1							
	目 標	②の目標値											
	目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。)												
対象者に対し、適正に給付を実施する。申請に対して適正に給付をする事業であることから、「目標値」の設定についてはなじまない。													
活動指標		③の数値	件	296	249	252							
3 経費	事業費(実績)		円	28,131,079	27,745,378	27,803,493	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)						
	財源	一般財源	円	7,070,346	6,936,344	4,837,493							
		特定財源	円	2,160,733	20,809,034	22,966,000							
	(うち受益者負担)		円										
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.2	0.2	0.2							
		所要人数(再任用)	人										
		職員人件費(再任用以外)	円	1,648,800	1,662,000	1,676,000							
職員人件費(再任用)		円											
事業費+人件費		円	29,779,879	29,407,378	29,479,493								
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く 法の規定により、市は支給決定を行い対象者に通知し、対象者が事業者と契約して補装具の作製等を行うことになっている。市が事業者に直接通知しないため、対象者から事業者へ連絡してもらうことになっているが、その連絡がないために事業者の補装具作成の着手が遅くなってしまうことがある。 結果として、当該年度において補装具が完成しないこともあり予算執行の見込みが困難である。												
	5 今後の方向性 仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く 事業者への通知を送ることにより円滑な事業運営が可能であるが、そのためには個人情報保護の観点や年間の郵送料等の増が懸案事項である。												